

夢をもち、未来を切り拓く生徒の育成



茂木の風

長崎市立茂木中学校
学校だより第18号
令和5年10月25日

「茂木だからできる・茂木で育てる・茂木から未来へ」 文責 校長 野田 希世美

茂木くんち 3年生奉納踊り、1年生巫女で参加しました

10月20日・21日は茂木くんちがありました。茂木くんちは「裳着（もぎ）神社」の秋季大祭です。お下りに始まり、奉納踊り、そして大祭、湯立て神事、お上りというお祭りです。私自身はじめて参加させていただきましたが、長崎市でも最も古い神社として850年の歴史の重みと地域の方々の裳着神社を大切にされている思いが伝わってきました。茂木中学校の3年生は2日目の奉納踊りでソーラン節を収めました。「もってこーい」の掛け声がかかり、3回踊りました。また、1年生の柴原さん、小林さん、戸崎さん、酒井さんが巫女さんとして2日間活動しました。神社の方にも地域の方にも大変感謝をされていました。生徒の皆さんお疲れさまでした。裳着神社の方々、地域の皆さまありがとうございました。来年も茂木くんちを盛り上げられるように中学校も頑張ります。



南小学校閉校運動会 ～最後の運動会7つ星の子どもたち～

22日に南小学校で最後の運動会が行われました。皆さんもご存じの通り、南小学校は今年度をもって閉校することになっています。すべてが「最後の」という言葉がついてくることとなりますが、この運動会もまさに71年間で最後の運動会となりました。田川校長の開会のあいさつの中に「いつも7人の子供たちは全力で何事も頑張っています。最後の運動会も最後まで全力で」がありましたが、南小学校のななつ星の子どもたちが「全力」で取り組んで、それを保護者、地域の方々、先生方が一体となっていたまさに「感動」の一言に尽きる運動会でした。風船をピフに見立てた「袋かけ競争」では南小ならではの競技でした。やはりここは地域の皆さんのプロの技が見られました。そして卒業生たちや、地域の人も参加した「南小ソーラン節」では最高潮に盛り上がりました。そして、終わった後の寄せてくる何とも言えない感情、一つの学校が閉校するということの事実を改めて考え感慨深くなりました。



ふれあいまつり出品の部 10/22～11/6 ふれあいセンターに展示されます

【書写の部】

1年 磯部 蒼 上川 心音 竹下 倅汰 戸崎 杏奈 中村 羽那 濱口 詩朋 山口 麻透
3年 田川 葉 朝永 友陸 中山 優梨花 山下 怜音

【絵画の部】

2年 川口 楓斗 濱邊 愛梨 山崎 陽路
3年 坂谷 星空 田川 葉 朝永 友陸 中崎 涼太 中山 優梨花 橋田 洸太 山田 颯士

【理科の部】

1年 小林 加奈 2年 谷山 友梨 森 光 3年 朝永 友陸 山下 怜音

【写真の部】

事務の先生 熊 美弘

みなさん、見に来てください。